

令和2年度第2回 三島総合病院地域協議会 議事録

開催日時：令和3年2月18日（木） 13：30～14：30

開催場所：三島総合病院 第一会議室

出席者：委員）池田裕介（一般社団法人三島市医師会会長）

三枝知子（三島市健康福祉部健康づくり課長・健幸政策戦略室長）

志村 肇（三島市谷田押切町内会役員）

病院）野田芳人（三島総合病院長）、平塚世津子（三島総合病院看護部長）

高山卓也（三島総合病院事務長）、高塚聖文（三島総合病院事務長補佐）

【議題】

1. 三島総合病院の現況について
2. 三島総合病院への要望事項について
3. その他

【院長挨拶】

本日は大変お忙しい中、令和2年度第2回三島総合病院地域協議会にご出席いただきありがとうございます。

この協議会につきましては、地域の実情にあった病院運営に努めることを目的としておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

1. 三島総合病院の現況について（病院より説明）

2月1日現在の職員数は、常勤275名、非常勤60名の合計335名です。前回10月1日現在の職員数から▲5人となっております。医師については、昨年10月より常勤の整形外科医1名、本年1月より腎臓内科医1名、2月より麻酔科医1名が採用となりました。

1日平均患者数については、昨年10月以降120人台が続いておりましたが、1月は138.5人、2月1日現在は153.5人と徐々にではございますが増えてきております。

平均在院日数は平均17日から18日となっております。

病床稼働率については稼働病床181床に対し70%台、周産期棟24床を除く稼働率は90%以上で、ここ5年間では高い稼働率となっております。地域包括ケア病棟50床では常時90%以上、透析センター34床ではほぼ100%の稼働率となっており、常勤医が着任したことによりさらに増えていくと想定しております。

1日平均外来患者数は年度当初はコロナの影響で少なかったが、現在は270人前後で推移し、救急搬送患者数については月45台前後を受入れ、今年度は550台から600台の受入れとなる見込みです。健診者数についてはコロナの影響で減少し、1月までの累計で34,119人、前年同月累計と比べ▲5,300人となっております。老健入所率は100床で93%以上の入所率を確保しています。紹介率・逆紹介率は累計でそれぞれ55.1%・34.8%、

分娩件数については、1月累計で23件となっており、対前年、対前々年と比べ伸びております。

経営状況については、コロナ補助金等を含み、1月累計で18,263千円の黒字となっております。

その他として、昨年11月より助産師外来を開設し、助産師による妊婦健診と保健指導を実施、本年4月からは皮膚科外来を開設予定で隔週の水曜・土曜に北里大学の医師が担当することになっております。

また、病院情報の発信として、エフエムみしま・かんなみのボイスキューラジオ番組で三島総合病院の取組等を発信する予定であります。

志村委員) 内科の患者数は変わりはないが、他科はほぼ減っている。また、コロナワクチンについては、病院で行うのですか。

病院) 外科系の診療科は、患者さんが外来受診を控え、内科系は高齢者が多く持病があり薬をもらう必要があり受診しなければならなかった。

コロナワクチンについては、詳細はまだ決まっていないが、3月には医療従事者、4月には高齢者が集団接種の形式で接種すると聞いています。

2. 三島総合病院への要望事項について

志村委員) 高齢者は市役所からワクチン接種場所などの連絡があるのでしょうか。

三枝委員) 65歳以上の方は集団接種で、ワクチンの入荷日を確認し、個人通知を発送する予定で、そこから個々で予約をする方式です。小学校の体育館を使用する予定で、できるだけ近くの体育館を選んで下さい。現在、ワクチンの入荷スケジュールが決まっておらず、会場等の日程が決まっていない状況です。国は3月末と当初言っておりましたが、現状4月以降にずれ込むだろうが、昨日の時点ではっきり分かっておりません。

志村委員) 三島総合病院で接種する人はどんな人ですか。

病院) 三島市は集団接種がメインであり、三島総合病院での接種はないと思います。一般接種が始まった場合には三島総合病院も個別接種の会場のひとつになる可能性はあります。市町でやり方が違うので、自治体・医師会が合同で対応し、病院が単独で接種を行うことはありません。

三枝委員) ワクチンの流通等は国がコントロールしており、詳細については知らされておりません。

病院) 県内の基幹型接種施設は決まっていないが、おそらく静岡医療センターか沼津市立病院になり、そこから当院にワクチンが配送されることになると思います。

池田委員) ディープフリーザーの配置場所は全国に発表され、基準は200ベット以上の病院なので、三島市は保健センターに3台、沼津市・沼津医師会2市2町で12台で設置場所を検討中で、沼津市立、静岡医療センターは基幹病院に指定されています。集団・個別接種を行う場所の人口と医療機関の配置、その規模の問題で各自治体の選択肢が分かれるだろう。人口が少なく医師も少ないところでは、集団接種が行われず個別接種になるだろう。個別接種ではシステム登録の問題など、個々の医療機関では難しい。高齢者の接種が終わって、一般接種が始まったら、三島総合病院や他病院でも集団接種から漏れた人を補って欲しいと考えているため、三島総合病院でも実施して欲しいと考えています。今後、話が出るだろうと思います。3月中に病院以外の医療従事者の接種は集団で小学校で行う予定です。高齢者接種のリハーサルを兼ねていると考えています。三島市の6病院は、職員数が100人以上なので、各病院で接種をお願いします。

病院) 三島総合病院では、健康管理センターを活用し午後の時間に接種を集中させ、通常勤務の合間で対応可能かと思っています。

志村委員) 開業医で接種するのは、なかなか難しいのですね。

池田委員) 以前の新型インフルエンザ時と状況が全く異なり、特効薬がないのでワクチンの取り扱いは難しい。

志村委員) ワクチンの安全性等は本当に大丈夫なのだろうか。効果についても分からない。接種して良いのか判断がつかない。

病院) 接種の状況や副反応等については、厚労省のホームページに接種情報として公開される予定なので参考にしてください。

三枝委員) 無症状のPCR検査をしてくれると言われてましたが、今はどうなのでしょう。需要はありますか。

病院) 検査は可能であります。大きな事業所で出張時に検査を要望されるケースはあるが需要は比較的少ないです。

三枝委員) 仕事の都合で陰性証明を必要とする事業所があるが、何処でどのように実施されているかの情報はあまり表に出回っていない。

病院) 要望があれば対応いたします。

3. その他

特になし。